

ARCHIV
Für
Japanische Chirurgie

Bd. 40 1971

日 本 外 科 宝 函

第 40 卷 總 目 次

CHIRURGISCHE UNIVERSITÄETSKLINIK
KYOTO JAPAN

(Arch. Jap. Chir.)

京都大学医学部外科整形外科学教室内

(日. 外. 宝)

日本外科宝函編集室

第40巻 総目次

話 題

肺 高 血 圧 症	中 村 和 夫 (1)
肝 広 汎 切 除	水 本 龍 二 (121)

原 著

外傷性硬膜外血腫の脳血管写にみられる中硬膜動脈の破綻像について	東 健一郎 (3)
選択的冠動脈造影法及び冠動脈血行再建術の臨床的研究	白 井 治 (15)
脳内 rheographyによる脳循環の研究	佐 藤 収 (45)
老人外科に対する臨床学的研究	江 里 健 輔 (81)

—— 手術安全限界に就いて ——

頭蓋内腫瘍の培養条件	武 内 重 二 (123)
下肢急性動脈閉塞における2,3の血清酵素活性値測定の診断的意義について	大 沢 直 (147)
アデノウイルス検索法としての蛍光抗体法とその問題点	児 玉 宏, 他 (164)

臨 床

propranolol (Inderal®) の不整脈に対する使用経験	鯉 江 久 昭, 他 (98)
-------------------------------------	-------------------

—— 主として心臓手術患者に於いて ——

症 例

切除不能な噴門癌及び残胃癌に対する食道 By-pass 手術 (有茎右半結腸胸骨前食道形成術)	小 林 真 佐 夫, 他 (170)
--	--------------------

昭和45年京都大学脳神経外科同門会集談会	(179)
第56回 岐阜外科集談会	(107)
第57回 岐阜外科集談会	(109)
第58回 岐阜外科集談会	(112)
第59回 岐阜外科集談会	(114)
第60回 岐阜外科集談会	(117)

第40卷 索引

人名索引

- A**
- 阿部 弘毅……………99
 安藤 隆……………114
 青柳 実……………182
 浅野 靖……………112,115,118
- B**
- 馬場 瑛逸……………109,119
 伴 貞彦……………182
- E**
- 蝦名 一夫……………181
 桧垣 潜……………113
 江里 健輔……………81
- F**
- 藤塚 正功……………118
 福光 太郎……………180,182
 古市 信明……………113
 古瀬 清次……………181
 伏木 信夫……………185
- G**
- 後藤 明彦……………108, 110, 113, 117
- H**
- 浜島 義博……………164
 浜田 忠弥……………164
 花岡 道治……………185
 半田 肇……………180
 原 節雄……………110, 113, 115, 118
 端野 博康……………185
 林 淳治……………107, 119
 東 健一郎……………3, 182
 日笠 頼則……………99
 平山 昭彦……………181
 広瀬 光男……………107, 109, 114, 115, 118
 本多 雅昭……………107, 113, 116
 堀部 廉……………110, 116, 117
- 堀越雄二郎……………164
 星野 睦夫……………113
 細野 和久……………117
- I**
- 井戸 豊彦……………110, 115
 今井 幸一……………118
 今井 昭和……………179, 180
 井上 律子……………111, 112, 115, 118
 石川 進……………182
 伊藤 文夫……………119
 岩島 康敏……………119
- K**
- 金武 喜子……………118
 加藤 康夫……………111, 112, 115, 118
 笠原 吉孝……………114
 檜木 良友……………107, 110, 114, 117
 河合 寿一……………116
 河村 悌夫……………181
 河村 雄一……………119
 菊地 晴彦……………182
 小林真佐夫……………170
 児玉 宏……………164
 肥田候一郎……………179, 180
 鯉江 久昭……………99
 小林 君美……………111, 112, 115, 118
 国藤 三郎……………113
 国枝 篤郎……………113, 114
 楠 忠樹……………181
 桑村 圭一……………181
 桑山 光文……………179
- M**
- 正木 直也……………164
 松田 昌之……………182
 松本 守海……………112, 115, 118
 松本 悟……………181
 松村 浩……………182
 松永 守雄……………182
 松波 英一……………110, 118

松岡 俊彦	113, 116
松浦 昭吉	107, 110, 113, 115, 118
三沢 恵一	108, 111, 116
三沢 郁夫	181
三尾 六蔵	116, 117
官田 慶男	114
水本 龍二	121
森 和夫	180
宗行万之助	99
村岡 隆介	99
村瀬 恭一	107, 109, 114, 116
村瀬 晃朔	107

N

中根 康雄	114
中村 和夫	1
難波 晃	182
西 仁	118
西村 周郎	182
野村 恭博	110

O

小川 隆司	109, 110, 114, 115, 117, 118
小野 文瑛	118
大橋 広文	108, 109, 116, 119
大前 勝正	113
大沢 直	147
太田 信夫	119
太田 富雄	182
織田 祥史	182
尾形 誠宏	182
岡 正典	114
岡部 一誠	119
岡田 昭紀	109
奥 孝行	110, 115, 118
鬼束 惇義	108
鬼束 惇哉	118

R

頼 正夫	179, 180
------	----------

S

佐治 董豊	111, 112, 113
佐野 彰	119

佐藤 収	45, 113
佐藤 好永	112
坂本 武嗣	119
坂田 一記	114
笹谷 唯美	119
関野 昌宏	107, 110, 113
妹尾 武彦	116
渋谷 健	182
清水 幸夫	179
下野 達宏	109, 115, 116, 117
島田 脩	108, 116
島津 栄一	109
白羽 誠	185
白井 治	15, 28
末永 満	182
杉田 太一	185
杉山 公二	118
杉浦 純宣	170
鷲見 靖彦	113
須原 邦和	107, 113, 116
鈴木 貞夫	108, 109

T

田辺 祐介	117
田中 千凱	114
田中 正雄	111
田村 公一	110, 119
武内 重二	123
高田 光昭	112, 114
高橋 親彦	107, 116
埜本 勝司	181
棚橋 徳重	113
東郷 実	180, 182
富永 純男	185
常田 昌弘	116
戸部 隆吉	164
都志見久令男	99

U

梅林 義彦	179
牛島 康晴	110

W

和田 英一	110, 118
-------	----------

和賀 志郎	182
渡辺 徹	180, 182
渡辺 祥	107, 118
渡辺 良	114

Y

山本 真史	108
山崎 駿	181
安江 幸洋	116
米田 俊一	179, 182

物 件 索 引

B

Bilateral cerebral hypoplasia	179
Bochdaleck 氏孔ヘルニア	117
膀胱肉腫	110

C

腸管回転異常	117
Cholesteatoma	114
Congenital spinal dermal sinus	113
Cystic hygroma	110

D

大腸ポリポージス	117
第三脳室腫瘍	182
男子乳癌	107
動脈瘤	114

E

腋窩部腺癌	118
Engelmann Camurati 氏病	185

G

外傷性横隔膜ヘルニア	107
偽型総動脈管	115

H

肺アスペルキルス症	118
肺外傷	112
肺癌	111
肺高血圧症	1
肺転移	115
被包性腹膜炎	119
脾臓悪性腫瘍	118

I

胃内転移胃癌	119
イレウス	116
胃癌	112

J

重複癌	113, 108
縦隔奇形腫	115

十二指腸乳頭腫	108
腎不全	109
腎透析	109

K

冠動脈血行再建術	15
肝広汎切除	121
肝膿瘍	108
頸動脈海綿静脈洞瘻	182
螢光抗体法	164
経皮経肝胆管造影	113
気管支内異物	115
後腹膜神経線維腫	119
甲状腺腫	110
硬膜外血腫	3
硬膜下エフェュージョン	181
空腸憩室	119
空腸重積症	117
クモ膜嚢腫	109
胸内甲状腺腫	115
胸腺腫	107, 118
急性動脈閉塞	147

L

Lymphangioma cystica	113
----------------------	-----

M

迷入痔	111
Myxosarcoma	182

N

内頸動脈瘤	182
脳循環	45
尿管癌	116
乳癌	110

O

横隔膜ヘルニア	107
横紋筋肉腫	113

P

Propranolol	98
-------------	----

R

老人外科	81
RISA-cisternography	182

S

浅側頭動脈・中大脳動脈吻合術	182
心膜欠損症	112
新生児腸閉塞	107
小腸破裂	116
小腸重積症	108
食道 By-pass 手術	170
僧帽弁完全置換	109
総胆管結石	113
腓外傷	110
腓腺腫	116
水頭症	114

T

てんかん	180
------	-----

特発性小脳内血腫	179
椎骨動静脈瘻	182

U

右心症兼大血管転位症	118
------------	-----

V

V-P シヤント	181
VUR 防止術	119

W

輪状腓	118
-----	-----

Y

指断端形成術	114
--------	-----

Z

前大脳動脈瘤	184
頭蓋骨髓炎	112
頭蓋内腫瘍	123

Contents of Volume 40 No. 1-2

Pulmonary hypertension	KAZUO NAKAMURA (1)
Traumatic Lesions of Middle Meningeal Artery	
in Association with Extradural Hematoma	KENICHIRO HIGASHI (3)
Clinical Studies of Selective Cine Coronary Arteriography and Surgical Revascularization of Ischemic Myocardium.....	
OSAMU SHIRAI	(15)
Studies on cerebral circulation with intracerebral rheography.....	
OSAMU SATO	(45)
Clinical Studies on Surgery of the Aged —Evaluation of Surgical Risk—.....	
KENSUKE ESATO	(81)
Propranolol (Inderal®) for the treatment of arrhythmias —Clinical Experience mainly in open heart surgical cases—.....	
HISAAKI KOIE, et al.	(99)
Major Hepatic Resection	RYUJI MIZUMOTO (121)
Conditions for the Establishment of Dispersed Cell Culture of Intracranial Tumors.....	
JUJI TAKEUCHI	(123)
Clinical and Experimental Studies on the Diagnostic Significance of Serum CPK and ALD Determination in Acute Arterial Occlusive Disease.....	
NAOSHI OSAWA	(147)
Immunofluorescent Examination for Adenovirus Infection.....	
HIROSHI KODAMA, et al.	(164)
Esophago-Colonic Bypass for Malignant Stenosis of the Esophago-Cardiac Junction and Carcinoma of the Rest Stomach.....	
MASAO KOBAYASHI, et al.	(170)

Index of Volume 40

Author Index

A	
Abe, Koki.....	99
E	
Esato, Kensuke.....	81
H	
Hamada, Chuya.....	164
Hamashima, Yoshihiro.....	164
Hikasa, Yorinori.....	99
Higashi, Kenichiro.....	3
Horikoshi, Yujiro.....	164
K	
Kobayashi, Masao.....	170
Kodama, Hiroshi.....	164
Koie, Hisaaki.....	99

M

Masaki, Naoya.....	164
Mizumoto, Ryuji.....	121
Muneyuki, Mannosuke.....	99
Muraoka, Ryusuke.....	99
Nakamura, Kazuo.....	1

O

Osawa, Naoshi.....	147
--------------------	-----

S

Sato, Osamu.....	45
Shirai, Osamu.....	15, 28
Sugiura, Yoshinobu.....	170

T

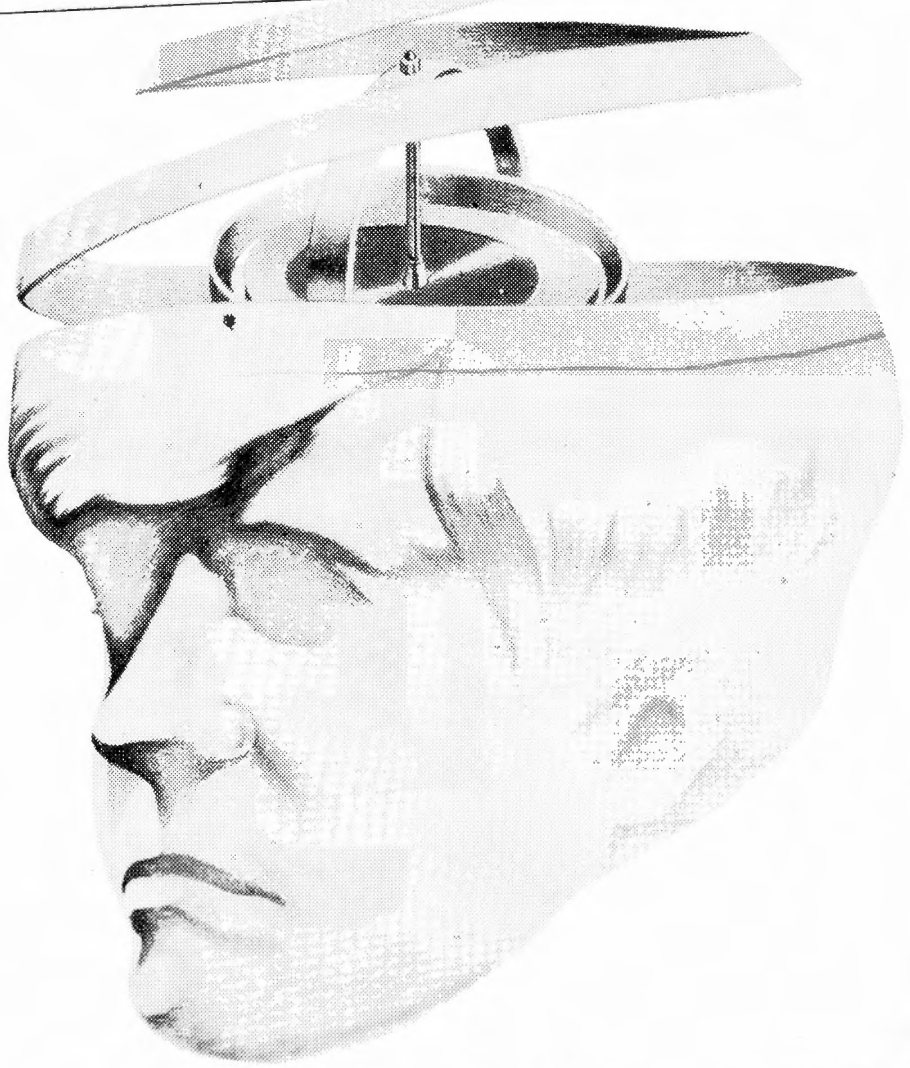
Takeuchi, Juji.....	123
---------------------	-----

Subject Index

Arterial occlusive disease.....	147
Cerebral circulation.....	45
Esophago-colonic bypass.....	170
Extradural hematoma.....	3
Immunofluorescent examination.....	164
Intracranial tumor.....	123
Major hepatic resection.....	121
Propranolol.....	99
Pulmonary hypertension.....	1
Revascularization of myocardium.....	15
Surgery of the aged.....	81

LUCIDRIL

頭部外傷・脳卒中、
脳術後の意識障害に



本剤は従来の各種薬物とは作用の様相が異なり、グルコースの脳内移行促進、低酸素状態下での神経細胞の賦活、脳各部の血流増加などにより、脳機能を調整的に賦活することが認められている。

脳の機能的障害に伴う急性の臨床症状は非経口投与によって迅速に改善に導かれるが、慢性症状も経口投与に切り換えることによって、比較的早期に正常化が認められる。

●適応症

錠—頭部外傷後遺症におけるめまい

注射用—頭部外傷、脳卒中、脳術後の意識障害、頭部外傷後遺症におけるめまい。

●用量・用法

通常1回1～3錠1日3回投与。1回1バイアル(250mg)を1日1～3回静注。急性期ないし投与初期には注射用ルシドリールがすすめられるが、ルシドリール錠投与中にも注射用ルシドリールを併用することで治療効果をたかめる場合が多い。

●包装

錠(100mg)	100錠	500錠	
注射用(250mg)	5バイアル	50バイアル	1バイアル
	(750mg)	10バイアル	

●薬価基準

1錠 35.50円

750mg
注射用
新発売

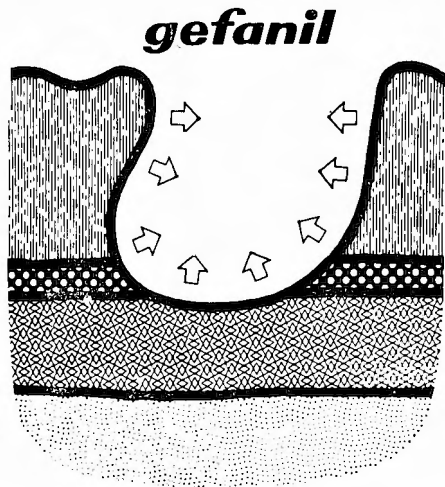


脳代謝改善剤
ルシドリール®
塩酸メクロフェノキセート

P 大日本製薬
大阪市東区道修町3-2
提携 アンファー社(フランス)

積極的に 潰瘍を 修復する!

潰瘍の発生・再発の防止と、
潰瘍組織部の再生・修復促進に



組織修復性 新抗潰瘍剤

ゲファニール®

カプセル・注射液

主成分 ゲファルナート〈製法特許〉……50mg

特長 消化管粘膜に保護的に作用するのみでなく、積極的に潰瘍の修復を促す、全く新しい薬物です
副交感神経遮断剤や酸中和剤(当社品：マリジンM、MG)との併用は、攻撃因子抑制作用と防禦因子増強作用のコンビが、より効果的です

作用 1. 胃粘膜中の粘液成分含量を増加させます
2. 組織の酸素吸収能を高め組織代謝を亢進します
3. 新生細胞の分化と機能の回復を早めます
4. 消化管に多く分布し、効率よく作用します

臨床 1. 特に潰瘍の消失、縮小効果がすぐれています
2. 種々のタイプの胃・十二指腸潰瘍に市広く奏効します
3. 毒性がきわめて低く、副作用がほとんどありません。従って長期連続投与ができます

薬価新収載

50mg 1P 31円70

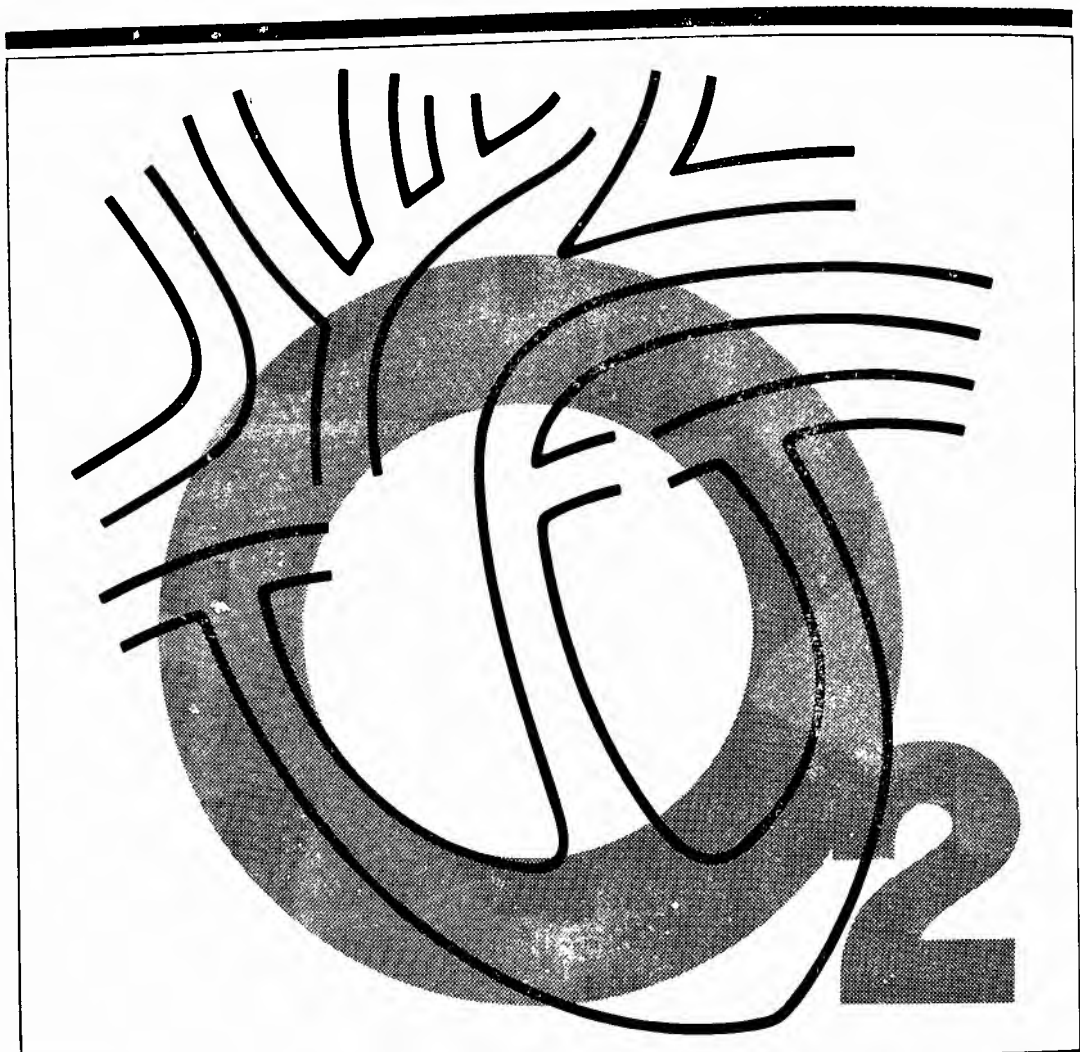
包装

カプセル 120, 600, 1200P
注射液 1ml × 10, 50 A



大阪市東区道修町2丁目40
住友化学 医薬事業部

販売元
稲畑産業 医薬事業部



冠不全・狭心症に

インデラル[®]

INDERAL (塩酸フロブランロール)

インデラルは冠不全・狭心症の自覚・
他覚症状を改善します

- 包装：錠(10mg) 120・600錠
- 薬価基準：1錠(10mg) ¥45.00 (45.8改正)



ICI. (ジャパン)リミテッド

医薬品部

大阪市東区北浜3丁目1(グリーンビル4階)
(06)202-5651



住友化学工業株式会社

医薬事業部

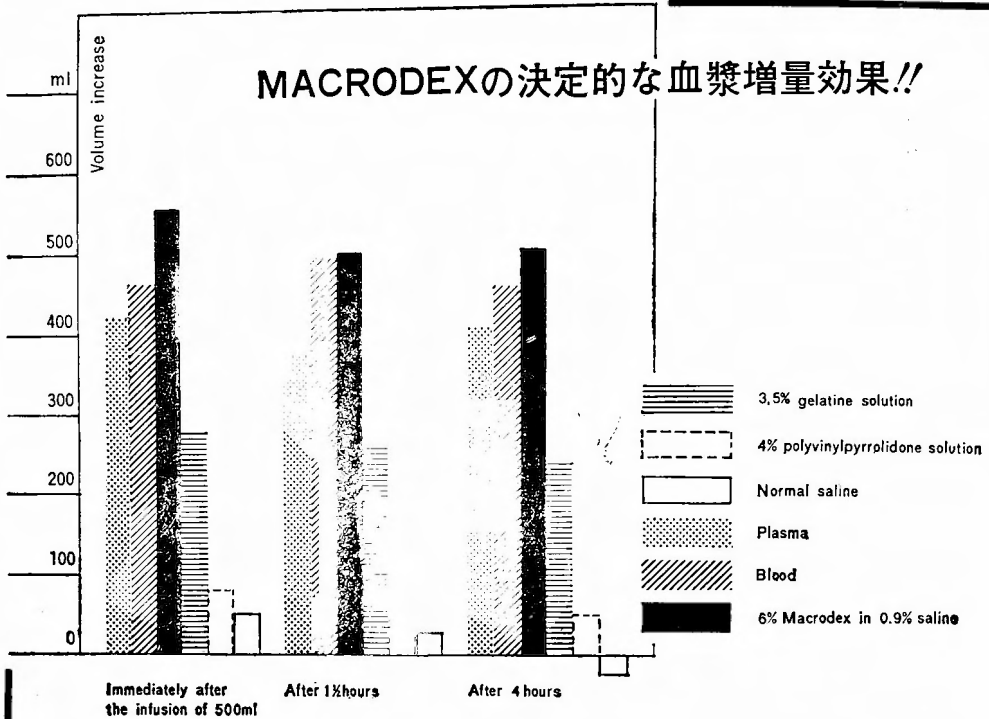
大阪市東区道修町2丁目40
(06)202-0051

稲畑産業株式会社

医薬事業部

大阪市東区道修町2丁目40
(06)202-8051

MACRODEXの決定的な血漿増量効果!!



MACRODEX in Saline

日本薬局方 デキストラン注射液; **デキストラン-ミドリ**

Ahnefeld, F.W., Halmagyi, M. らは、各種血漿代用剤の血漿増量効果について上図のような決定的報告を行ない **Macrodex (6% Dextran 70 in 0.9% Saline)** の優秀性を認めている。

コロイド性血漿代用剤の溶媒について種々の検索が行なわれ、5%ブドウ糖液を溶媒として用いると、水中毒症ならびに乏尿発生の危険のため好ましくないことが見出されている。

これに反して **0.9%生理食塩液** を溶媒としたものは、細胞外液量の維持については循環系の安定化のため、また腎障害発生の可能性を除外する目的において適していると報ぜられている。²⁾

★より生理的な血漿増量剤

MACRODEX in Saline; **デキストラン-ミドリ**

組成 (500ml中)	日局デキストラン (MW70,000)	30g	薬価基準	日局デキストラン注射液 (デキストラン-ミドリ)
	日局塩化ナトリウム	4.5g		500ml 1瓶 941円

- 1) Ahnefeld, F.W., Halmagyi, M. and Überla, K. : Anaesthetist, 14:137~143 1965.
- 2) 小田武雄, 高折益彦: 出血に対するデキストラン投与後の体内水分分布一とくに溶媒に関する研究, 医学のあゆみ, 66,179-186,1968.

■文献贈呈

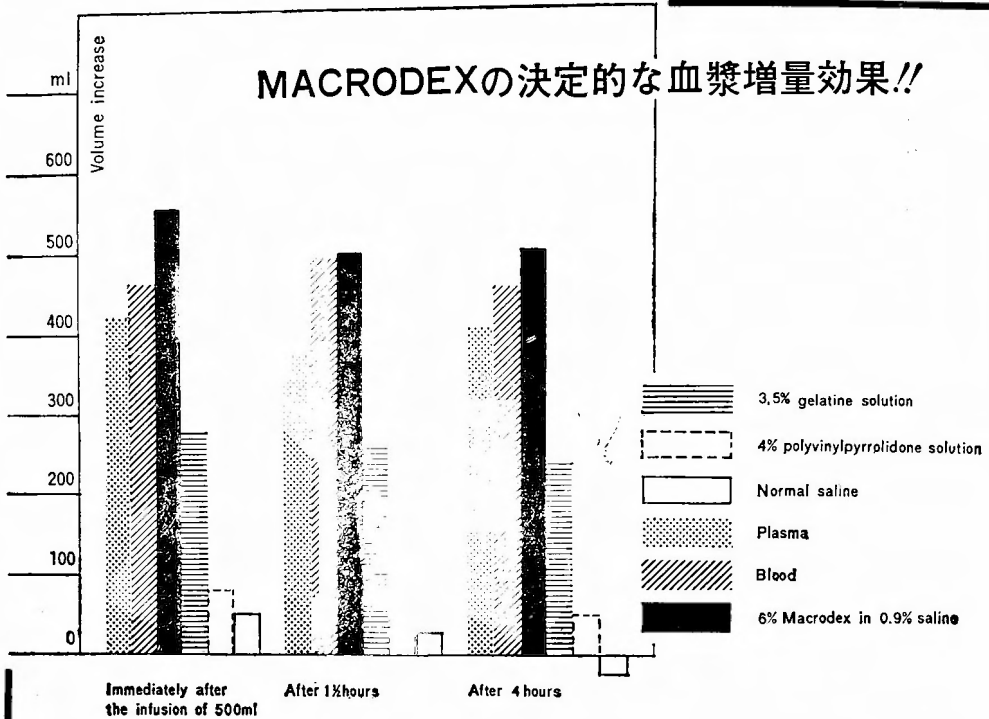


株式会社

ミドリ十字

大阪市城東区蒲生町3の1

MACRODEXの決定的な血漿増量効果!!



MACRODEX in Saline

日本薬局方 デキストラン注射液; **デキストラン-ミドリ**

Ahnefeld, F.W., Halmagyi, M. らは、各種血漿代用剤の血漿増量効果について上図のような決定的報告を行ない **Macrodex (6% Dextran 70 in 0.9% Saline)** の優秀性を認めている。

コロイド性血漿代用剤の溶媒について種々の検索が行なわれ、5%ブドウ糖液を溶媒として用いると、水中毒症ならびに乏尿発生の危険のため好ましくないことが見出されている。

これに反して **0.9%生理食塩液** を溶媒としたものは、細胞外液量の維持については循環系の安定化のため、また腎障害発生の可能性を除外する目的において適していると報ぜられている。²⁾

★より生理的な血漿増量剤

MACRODEX in Saline; **デキストラン-ミドリ**

組成 (500ml中)	日局デキストラン (MW70,000)	30g	薬価基準	日局デキストラン注射液 (デキストラン-ミドリ)
	日局塩化ナトリウム	4.5g		500ml 1瓶 941円

1) Ahnefeld, F.W., Halmagyi, M. and Überla, K.: Anaesthesist, 14:137~143 1965.

2) 小田武雄, 高折益彦: 出血に対するデキストラン投与後の体内水分分布—とくに溶媒に関する研究, 医学のあゆみ, 66,179-186,1968.

■文献贈呈



株式会社

ミドリ十字

大阪市城東区蒲生町3の1

■多くの疾患に
すぐれた効果が
期待できる

経口用セファロスポリン系抗生物質

ケフレックス[®]
Keflex

一般名 セファレキシン



カプセル・錠(割線入り)・懸濁内服用・シロップ用細粒

Lilly イーライ・リリー社製品 **シオノギ製薬**

投稿規定(昭. 40.9.1改正)

- 本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する(年間6冊). 状況により臨時増刊を発行する.
- 本誌予約購読者の原稿を掲載する.
- 予約購読料は年額1,500円(送料を含む)とし, 分売は1冊300円とする.
- 原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原稿には欧文表題・欧文抄録. 欧文原稿には和文表題及び和文抄録を添付されたい.
原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)
症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)
- 原稿が当編集室へ致達した日附を受付日とする.
- 原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事. この際は「」不要.
- 数量の単位は下記の例による.
例, m, cm, mm, cc, kg, g, °C, μ,
%, pH, 等 ピリオド不要
- 原稿は横書とし新かなづかいを用いる事.
- 欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入されたい. 又, この他に欧和文とも 100 words以内の欧文抄録を添付されたい.
- 欧文中の人名にはアンダーラインを記入する事(文献を除く).
- 挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し, 直ちに凸版の製作が出来るようにして送附の事. また, その挿入位置を原稿に記入する事.
- 図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, もしくは添付

し本文中には挿入個所のみ指定する事.

- 原稿は完全なものとして御送附願いたい. 校正の際における加筆補正は認めない.
- 引用文献は篇末に集め, 次の例による.
Faris, T. D., Dickhans, A. J., Marchioro, T. L. and Starzl, T. E.: Radioisotope scanning in auxiliary liver transplantation. Surg. Gyn. Obst., 123 : 1261, 1966.
Wolf, S. and Wolf, H. G.: Human Gastric Function. London, Oxford University Press, 1943.
Sissons, H.A.: The growth of bone. In The Biochemistry and Physiology of Bone, edited by Borne G. H. New York Academic Press Inc., 1956.
所 安夫: 脳腫瘍. 東京, 医学書院, 昭34.
三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学6 : 769, 昭26.
- 掲載料は実費として1頁より5頁まで1頁につき1,700円, 5頁を越えるもの1頁につき2,300円とし, 図表写真版等の費用は著者の実費負担とする. アート紙の使用, コロタイプ, 天然色図版の掲載等に関しても著者において実費を負担するものとする.
- 執筆者において別刷希望の方は, 投稿と同時に希望数を附言されたい. 別刷は1頁5円を申し受ける.
- 原稿は書留郵便で下記に送られたい.
- なお原稿は返却しない.

京都市左京区聖護院川原町53
京都大学医学部附属病院外科学教室内
日本外科宝函編集室宛
電(771) 8111 学内5746

昭和46年10月20日印刷

昭和46年11月1日発行

編集兼発行者

京都市左京区聖護院川原町
本 庄 一 夫

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル
松 崎 秀 雄

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル
松崎印刷株式会社

発行所

京都大学医学部外科整形外科学教室

日本外科宝函編集室

代表者 本 庄 一 夫

(振替口座京都3691)